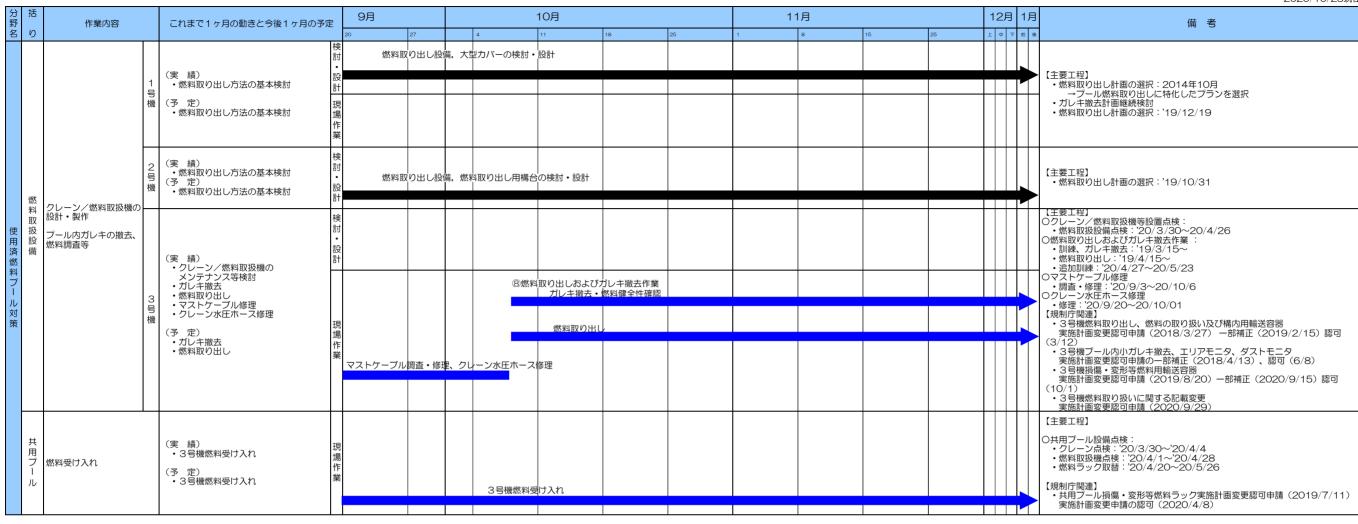


#### 循環注水冷却スケジュール(2/2)

分 括野名 约	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	9月	10月	11月	12月 1月	備考
(g	使用済燃料ブール循環冷却	(実績)  ・【共通】循環冷却中(継続)  ・【2号】SFP系統空気作動弁用空気供給ライン修理 ・SFP―次系停止: 2020/9/28 ~ 2020/10/2  (予定)  ・【1号】SFP系統定別点検(熱交換器・計装品) ・SFP―次系停止: 2020/11/10 ~ 2020/11/20  ・【2号】SFP―次系ホンブ電動機点検 ・SFP―次系停止: 2020/11/2~11/13	【1. 2. 3号】循環冷 【1. 2. 3号】循環冷 【2号】SFP一》		[1号] SFP—次系停止 <b>実施時期調整中</b> [2号] SFP—次系停止		
8月渓燃米フー 川関道	使用済燃料ブールへの注水冷却	(実 績) ・【共通】使用済燃料ブールへの非常時注水手段として コンクリートボンブ車等の現場配備(継続)	別【1、3号】コンクリート	トポンプ重等の現場配備	38.70		
	海水線食及び 塩分除去対策 (使用済燃料ブール 業注&塩分除去)	・【共通】ブール水質管理中(継続)	・ 段【1, 2, 3, 4号】プ-				

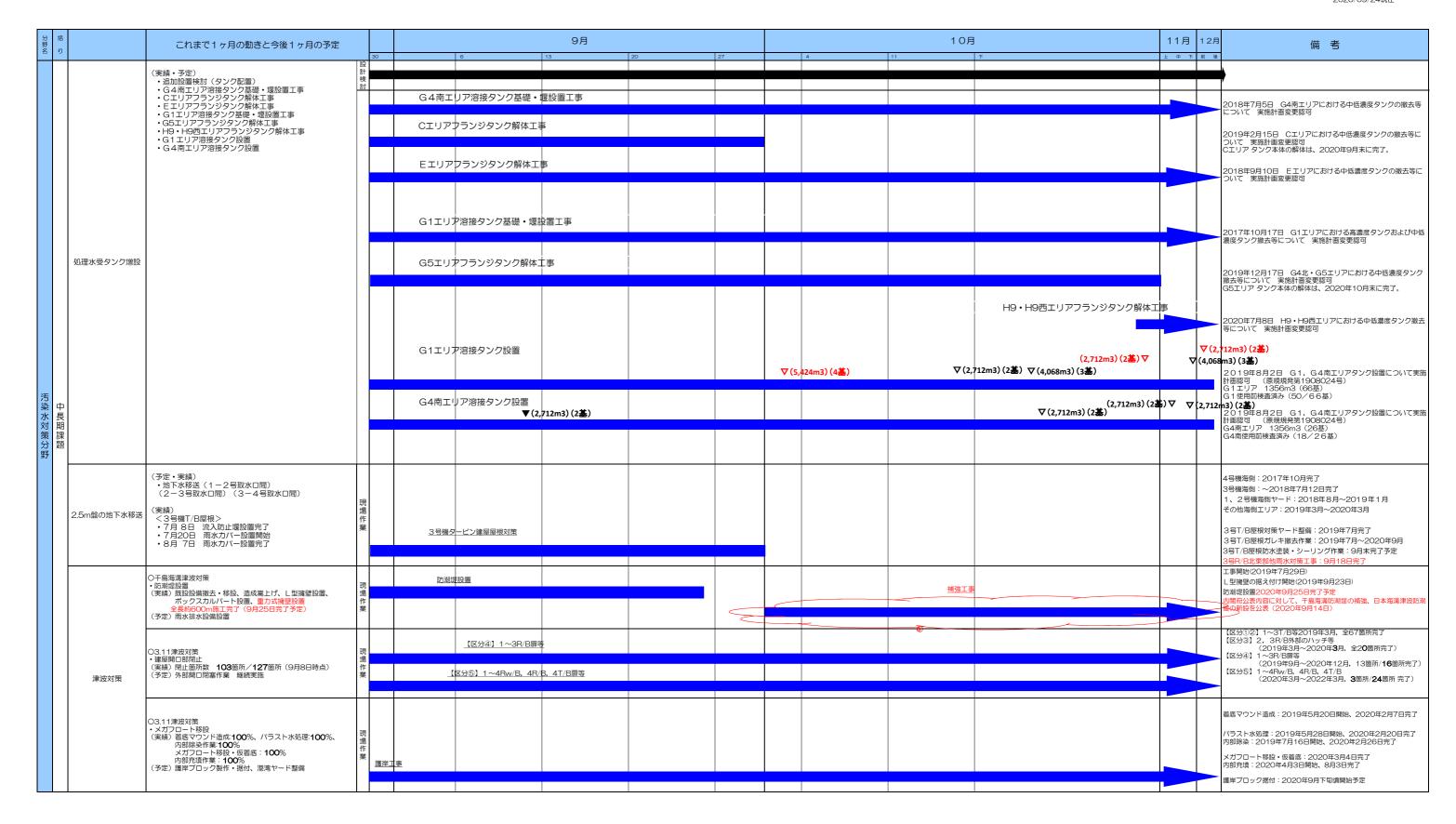




# 燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野を	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	9,5	∃		10月				11月				1月	備考
4		(実 績) ○建屋内環境改善(継続) 1 (予 定) ○建屋内環境改善(継続)	20	27	2階線量調	査 準備作業・調査	18	25	1 8	15	F	E	下「	3	建屋内環境改善  • 2階線量調査の準備作業のうち3階床面穿孔
原子炉建屋内環	原子炉建屋内の 環境改善	(実 績) ○建屋内環境改善(継続) 2 (予 定) ○建屋内環境改善(継続)	作業 検討・ ・ 設計 現建屋内環境で 1階西側エリ	y善 7才床面除染										3	建屋内環境改善 ・機器撤去・19/12/13~20/3/25 ・機器撤去・19/12/13~20/3/25 ・保器撤去・20/7/15~20/7/24 ・R/81階北西エリア・乗会服故去。 ・1階西側エリア床面除染 20/9/1~20/9/25
境改善		(実績)なし 3 (予定)なし 号	物作業 検討・設計 現場の							建準	<b></b>	朔調整中			建屋内環境改善  - 準備工事・線量測定・19/6/14~19/8/30  - 機器撤去・19/9/18~20/1/13  北西エリア仮設率へい設置に干渉する機器の撤去。 - 仮設率へい設置20/1/14~20/2/18  北西エリア計装ラック前への反数率へい体の設置。 - 線源調査20/2/19~20/5/22 原子炉建屋1階の線量関査・線源調査の実施。 - R/B1階北西エリア機器撤去
格納容器內水循	ᄶᄵᄳᅉᄝᇚᆚᄺᆍᅖ	(実 績)なし (予 定)なし (実 績)なし (予 定)なし	現場作業												線源となっている北西エリア制御盤他の撤去。 準備作業 20/11月~20/12月予定
燃料デブリ取り出し	格納容器内水循環・ システムの構築	(実 績) 〇サプレッションチェンバ(S/C)内包水サンプリング(継続) (予 定) 〇サプレッションチェンバ(S/C)内包水サンプリング(継続)	接討・設計 現場作業		S/Cサンプリン 片付け作業	Ø									S/Cサンプリング ・準備作業 2020/7/7〜7/20 ・サンプリング 2020/7/21〜9/18 ・片付け 2020/9/23〜10/20
準備 燃料		(実 績) ○原子炉格納容器内部調査(継続) 1 号 ○原子炉格納容器内部調査(継続)	検討・設計 現場作業		PCV内部調 PCV内部調	奎 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	作業								PCV内部調査に係る実施計画変更申請(*18/7/25) →補正申請(*19/1/18) →認可(19/3/1) 【主要工程】 ・PCV内部調査装置投入に向けた作業*19/4/8~
科デブリ取り出し	燃料デブリの 取り出し	(実 績) ○原子炉格納容器内部調査(継続) 2 号 (予 定) ○原子炉格納容器内部調査(継続)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				PCV内部調料							-	PCV内部調査に係る実施計画変更申請(18/7/25) →補正申請(20/9/9) →1号機PCV内作業時のダスト飛散事象を踏まえて、2 号機においてもダスト低減対策を検討中。2号機PCV内 部調査は2021年内開始を目指す試験的取り出しと合わせて実施することで検討中。 ・PCV内部調査装置換入に向けた作業20/10/20~
		(実 績)なし (予 定)なし	現場作業				PCV内部調道	査 登装置投入に向けた作	<b>業</b>						

分 招野名 约		これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	20		9月	I as			10月	11月	12月	備考
		【1,2号機 滞留水移送装置設置】 【3,4号機 滞留水移送装置設置】 (実績)	30		【1、2号機】滞留水移送装置設置	20 21	VA系統運用	開始		B系統運用		2020年1月30日 1~4号機建屋滞留水移送装置の追設の 実施計画変更認可(原規規発第2001303号)
		<ul><li>・穿孔・地下階干渉物撤去</li><li>・架台・配管・ボンプ設置</li><li>・3、4号機 滞留水移送装置設置A系※運用中</li></ul>	現場作		【3、4号機】滞留水移送装置設置					B系統運用關始▽		2020年1月30日 1~4号機建屋滞留水移送装置の追設の実施計画変更認可(原規規発第2001303号)
	建屋滞留水処理		美									<ul> <li>2020年8月14日 3/4号機滞留水移送装置A系統<sup>※</sup>使用前検査修 了証受領(原規規発第2008145号)</li> <li>2020年8月18日A系連川開始</li> <li>※3号機T/Bサービスエリアは、1、2号機側のA系統滞留水移送</li> </ul>
		【1~4号機滞留水浄化設備】 (実績) ・【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中	現場	【1∼4号	機】建屋滞留水浄化 運用中						Шин	装置と同時期に運用開始予定
			作 業								)))))))))	*
		【既設多核種除去設備】 (高性能多核種除去設備】 (増設多核種除去設備) (実設) ・処理運転	現		二次処	理の性能確認試験(9/15~10月の	中旬 増設	核種除去設備)	処理運転	(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)		処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転 まだは処理停止
		(予定) ・処理運転 「増設多核種除去設備」 二次処理の性能確認試験(9/15~10月中旬)	作業								)))(((((((((((((((((((((((((((((((((((	S/CIO.RECTTL
			現場 処理運作									サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~) 加・加・銀子では、では、14~8/6)
中長其詩語	净化設備	・処理運転 (5/6号機サブドレンの復旧) (実績) サブドレン設備復旧検討完了	秦 検 討 ・ 設 計								****	サブドレン設備復旧方針検討完了
染水対策		[5/6号機サブドレンの復旧] (実績) サブドレン設備復旧工事着手 (9/7~)	現場作									
<sup>宋</sup> 分野		(第三セシウム吸着装置) (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作	処理	<b>建</b> 重転							2017年7月28日 除染装置関連設備撤去の実施計画変更認可 (原規規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実施計画変更 認可 (原規規発第1709285号)
			業								<b>]</b>	第三セシウム吸着装置設置コールド試験完了(H30.7月) 2019年1月28日 第三セシウム吸着装置使用前検査修了証受領 (原規規発第1901286号) 2019年7月12日運用開始
	陸側遮水壁	(実績・予定) ・未凍結箇所補助工法は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業	維持管	理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~	、海側の一部 2017/11/13	~、海側全	域・山側の一部 201	8/3/14~、山側全域	2019/2/21完了)	Muu	2016年3月30日 陸側遮水壁の閉合について実施計画変更認可 (原規規発第1603303号) 2016年12月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更 認可(原規規発第1612024号) 2017年3月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認 可(末球結箇所4箇所の閉合:原規規発第1703023号)
		(実績・予定)									######################################	*** 2017年8月15日 陸側返水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所1箇所の閉合:原規規発第1708151号)
	H4エリアNo. 5タ ンクからの漏えい対策	・汚染の拡散状況把握	現場作	モニタリ	פע							-
			<b>未</b>									



2020年10月23日 東京電力ホールディングス株式会社

#### 多核種除去設備

	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)
Α							停止							
В		停	止							停止				
С						停止	•							

#### 増設多核種除去設備



### セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)



※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

#### 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について (2020年10月16日~2020年10月22日)

2020年10月23日 東京電力ホールディングス株式会社

		J.	京子炉建屋2	水位		タービン建屋水位				廃棄物処	理建屋水位		集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス		サイトバンカ
			ホ <sup>°</sup> ンフ <sup>°</sup> エリア	南東エリア	55		2						2	主建屋	建屋	建屋
10月16日	-1849	-1772	-1982	-2221	-3236 以下	-	-1632 以下	-1612	-1479 以下	-	-1611 以下	-1581 以下	-1519 以下	-189	664	2704
10月17日	-1839	-1755	-2026	-2277	-3236 以下	-	-1632 以下	-1612	-1479 以下	-	-1611 以下	-1581 以下	-1519 以下	-247	665	2704
10月18日	-1836	-1753	-2040	-2081	-3236 以下	-	-1632 以下	-1610	-1479 以下	-	-1611 以下	-1581 以下	-1519 以下	-298	664	2703
10月19日	-1831	-1765	-2066	-2037	-3236 以下	-	-1632 以下	-1610	-1479 以下	_	-1611 以下	-1581 以下	-1519 以下	-356	664	2703
10月20日	-1839	-1755	-2068	-2089	-3236 以下	_	-1632 以下	-1610	-1479 以下	-	-1611 以下	-1581 以下	-1519 以下	-301	348	2703
10月21日	-1846	-1751	-2077	-2147	-3236 以下	-	-1632 以下	-1610	-1479 以下	_	-1611 以下	-1581 以下	-1519 以下	-220	-58	2703
10月22日	-1841	-1753	-2078	-2205	-3236 以下	_	-1632 以下	-1609	-1479 以下	-	-1611 以下	-1581 以下	-1519 以下	-141	-226	2703
最下階床面高さ	-2666	-4796	-47	96	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	_

#### 備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水除去完了(2017年3月)
- |※ 1号機廃棄物処理建屋は水位計の測定下限値以下まで水位低下(2018年7月)
- |※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日~)
- |※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日~)
- |※ 4号機タービン建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2019年12月27日~)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年1月17日~)
- ※ 3号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年8月18日~)
- |※ 4号機原子炉建屋水位は,水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年8月25日~)
- ※ 2号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年10月8日~)
- ※ 2号機タービン建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年10月9日~)

# 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1,11,12</sup>	保管容量 <sup>※1,12</sup>	管理方法		主要
記載箇所	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	4 74 79	VK E 334771	PN E 712 /65			実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	核種
				民从佐建 【 0.1.0 /1】	216, 400 m <sup>3</sup>	270, 200 m <sup>3</sup>	・人が容易に立ち入れないよう区画	_	
		・地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫		・屋外集積【~0.1mSv/h】	$[ +1,900 \text{ m}^3 ]$	$(291, 200 \text{ m}^3)$	・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生		1
		・フォールアウトにより汚染した設備・資機		)	42,900 m <sup>3</sup>	71,000 m <sup>3</sup>	シートに破れがないこと、その他異常	週1回	
		材で廃棄する物(建屋、制御盤、廃車両等) ・設備の点検・工事により発生する交換品等	屋外	・シート養生【~1mSv/h】	[ +100 m <sup>3</sup> ]	$(71,000 \text{ m}^3)$	が無いことを確認		
	<del></del>	(ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等)		##   _ b _ pt	17,900 m <sup>3</sup>	24,600 m <sup>3</sup>	A-11 (A-11 - A-11 - A-1	\W.4 I	1
	瓦礫類	・設備運転に伴い発生する消耗品等(空調フィ		・覆土式一時保管施設、容器収納【1mSv/h~30mSv/h】	$\begin{bmatrix} & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & $	$(24,600 \text{ m}^3)$	・空間線量率を測定し表示	週1回	
		ルタ等) ・工事等のため構内に持ち込んだ消耗品(梱包	固体廃棄	de 10 de /de	22,600 m <sup>3</sup>	48,000 m <sup>3</sup>	カケナの北色はは原連立と知ら	6ヶ月に	1
		材、型枠、セメント用空袋等)	物貯蔵庫	・容器収納	[ +100 m <sup>3</sup> ]	$(80,000 \text{ m}^3)$	・空気中の放射性物質濃度を測定	1回**2	
Ш		・回収した土壌		〒1884年 ↑ ↑ ↑	299, 700 m <sup>3</sup>	413, 700 m <sup>3</sup>	・槽内の溜まり水の有無を確認(覆土式一	)H 1 G	1
第1編				瓦礫類の合計	$[ +2,000 \text{ m}^3 ]$	$(466,700 \text{ m}^3)$	時保管施設)	週1回	Cs-137
39条		・タイベック	屋外	・容器収納			・煙、水蒸気、濁り水(黒・茶色)、空		Cs-134
第2編		・下着類	生八	<b>在</b> 404次例1	$32,300 \text{ m}^3$	68, 300 m <sup>3</sup>	<u>・                                    </u>	週1回 <sup>※3</sup>	等 <sup>※7</sup>
男 4 帰 87条の 2	護衣等	・ゴム手袋 ・その他保護衣、保護具	建屋	<ul><li>袋詰め</li></ul>	$[-3,500 \text{ m}^3]$	$(74,500 \text{ m}^3)$	集積の伐採木)	210	
		C 7 個体成為、体成六			37, 300 m <sup>3</sup>		<del> </del>		4
				・伐採木一時保管槽	[ 0 m <sup>3</sup> ]	41,600 m <sup>3</sup>	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 <sup>※3</sup>	
		・枝葉根			400				1
	10 15 1		屋外		$\begin{bmatrix} 0 \text{ m}^3 \end{bmatrix}$	6,000 m <sup>3</sup>	・保管量を確認し、保管容量が確保されて		
	伐採木	+4.40		・屋外集積	96, 600 m <sup>3</sup>	96 600 …3 いろことを確認		月1回	
		· 幹根			$\begin{bmatrix} 0 \text{ m}^3 \end{bmatrix}$	128,000 m <sup>3</sup>		1	
				伐採木の合計	134, 400 m <sup>3</sup>	175, 600 m <sup>3</sup>			1
				(人)水/下ップロ目	[ 0 m3]	$(175,600 \text{ m}^3)$			
			廃スラッジ	- ・造粒固化体貯槽【除染装置】	$422 \text{ m}^3$	700 m <sup>3</sup>	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えい	常時	
		• 凝集沈殿物	貯蔵施設	ZEETHAN INVACE	[ +1 m <sup>3</sup> ]	m	の有無を監視	114 - 4	
		ACALULUS V		・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】			<u>・人が容易に立ち入れないよう区画</u>	—	
				(最大約13mSv/h)	3,610 本	4, 192 本	・空間線量率を測定し表示	—	
				・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】	[ +21 本 ]	1, 102 1			
				(最大約23mSv/h)			  ・巡視を行い, コンクリート製ボックス		
				・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装			カルバート等に異常が無いことを確認	_	
			使用済セ	置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】(最大約1.2mSv/h)	352 本	584 本			
		・吸着材(前置フィルタ含む)	シウム吸 着塔一時		[ +4 本 ]				_
	水処理二	217,	保管施設	・処理カラム【多核種除去設備】 (最大約0.2mSv/h)					
	次廃棄物			・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバ					
第1編	(水処理			イル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装	972 本	1,596 本	・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保	週1回	Cs-137
10夕	により放 射性物質			置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去 設備検証試験装置】 (最大約250mSv/h)	[ 0本]	_, -,	されていることを確認		Cs-134
	を濃縮し				_				Sr-90等
男 2 編 87条の 3	た廃棄			・容器収納【モバイル型Sr除去装置】 (最大約0.5mSv/h)					
017/20	物)			・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】					1
		・フィルタ	屋外	(最大約0.5mSv/h)					
			固体廃棄	・容器収納【サブドレン他浄化装置】	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	_	
			物貯蔵庫	・容器収納【雨水処理設備等】 (1mSv/h未満)	+				
	ŀ			Comment of the commen					1
		DO NOTE THE PARTY OF THE PARTY		th Black of Formation of the Color of the Co				_	
		・RO装置のフィルタ類	屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】(最大十数mSv/h)	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様		
		・RO装直のフィルタ類			I				1
		・樹脂	固体廃棄	・容器収納【SFP塩分除去装置】 (最大十数mSv/h)	瓦礫類に含む		   瓦礫類と同様		-

# 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1,11,12</sup>	保管容量 <sup>※1, 12</sup>	管理方法	_	主要核種
記載箇別	7 173 791	* 74 75	PI = 333/77	FIT H 70 /GI	N 日 <u>工</u>	<b>水百石</b> <u></u>	実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	核種
		・震災前に発生した放射性固体廃棄物		・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本				
		・長火削に先生した放射性直径廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・その他	ドラム缶 10, 155 本	ドラム缶 (約252,700本相	・巡視による保管状況の確認及び保管量の確認	月1回	
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)		・ドラム缶収納	2,112 本 [ +64 本 ]	当)			
Ш		生固 棄物	サイトバ	• 水中保管	12, 125 本	_	・事故前の保管量の推定値により確認	3ヶ月に1 回	
第1編 38条	放射性固 体廃棄物 等		ンカ	<b>小</b> ·小·№ 目	193 m <sup>3</sup> **4		・プール水位の確認	月1回	Co-60 等
第2編 87条			おいカ笙	・タンク等に貯蔵	3,534 m <sup>3 **5</sup>	_	• 貯蔵量の確認 <sup>※8</sup>	3ヶ月に1 回	
		・イスン文映樹畑、垣極画化件	グマグザ	・ グ ン グ 寺 (C 泉 ) /成	J, JJ4 ∭		・貯蔵状況の確認 <sup>※8</sup>	タンクに より異な る	
		• 使用済制御棒等	使用済燃	・水中貯蔵	11,422 本 <sup>※6</sup>	_	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回	
			料プール	71 \ 1 243 (194)	11, 122 /-		・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回	
		・回収した土壌	-	・シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	_	5, 000 m <sup>3</sup> [ +1, 000 m <sup>3</sup> ]			
	瓦礫等	・回収した土壌以外の瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	_	11, 300 m <sup>3</sup> [ -400 m <sup>3</sup> ]			Cs-134 Cs-137 等
		一の いたエスクバーン 和味可	建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	_	2,400 m³ [ 微減 m³]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示		
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等 - や容器収納、容器収納の上 シート養生		_	$\begin{bmatrix} 200 \text{ m}^3 \\ 0 \text{ m}^3 \end{bmatrix}$			Cs-137 Cs-134	
		仮設集積の合計		_	18, 900 m <sup>3</sup> [ +600 m <sup>3</sup> ]			Sr-90等	

- ※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物(焼却灰等)は2020年8月31日現在、水処理二次廃棄物は2020年10月1日現在の保管量及び保管容量である。
- 尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に ( ) で記載している保管容量は、実施計画(2020年7月14日認可)に記載している保管容量である。 ※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。
- ※3 6月~9月は、1週間に3回。
- ※4 2020年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒:1,167本、チャンネルボックス:9,818本、ヒューエルサポート:3本、中性子検出器:1,137本、その他(シュラウド切断片等):193m<sup>3</sup>。
- ※5 2020年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂:2,386m³、造粒固化体:1,148m³。
- ※6 2020年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒:281本、チャンネルボックス:10,539本、ポイズンカーテン:173本、ヒューエルサポート:54本、中性子検出器:375本。
- ※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14(半減期:約5.7×103年)、Ni-63(半減期:約1.0×102年)、Se-79(半減期:約1.1×106年)、Tc-99(半減期:約2.1×105年)、I-129(半減期:約1.6×107年)等が検出されているものがある。
- ※8 1~4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。
- ※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画(2020年7月14日認可)に未記載。
- ※10 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。 また、保管量については集積する最大の量である。
- ※11 [ ]は、前回報告値との差を示している。
- ※12 一部の値について端数処理で100m3未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m3未満の増減を微増・微減と示している。

# ガレキの保管量の現状(2020年8月31日時点)

# 屋外集積(O.1mSv/h以下)対象エリアの保管量\*\*7

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※1、4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≦0.001	AA	36,400	14,800	+300
≦0,005	Α2	9,500	<u></u> *5	<u>-</u> <b>※</b> 5
≧0.005	J	8,000	6,200	0
	A 1	4,300	<u></u> *5	<u>-</u> <b>※</b> 5
≦0.01	В	5,300	5,100	-200
	С	31,000	31,000	0
≦0.025	C	35,000	32,200	+1,000
≦0.028	U	800	700	0
	С	1,000	1,000	0
	F2	7,500	6,400	0
≦0.1	Ν	10,000	9,600	0
<b>≅</b> 0.1	0	51,400	44,000	0
	P1	64,000	58,900	+800
	<b>V</b>	6,000	6,000	0
合	<u></u>	270,200	216,400 <sup>%6</sup>	+1,900

2021年3月末瓦礫類想定発生量※3 (m3) 260,100

#### シート養生(1mSv/h以下)対象エリアの保管量<sup>※7</sup>

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※1、4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≦0.3	D	4,500	2,600	0
	E1	16,000	14,400	+100
	P2	9,000	5,800	0
≦1	W 1	23,000	9,800	微増
	W2	6,300	2,400	0
	X	12,200	7,900	0
合	計	71,000	42,900	+100

2021年3月末瓦礫類想定発生量※3 (m3) 70,700

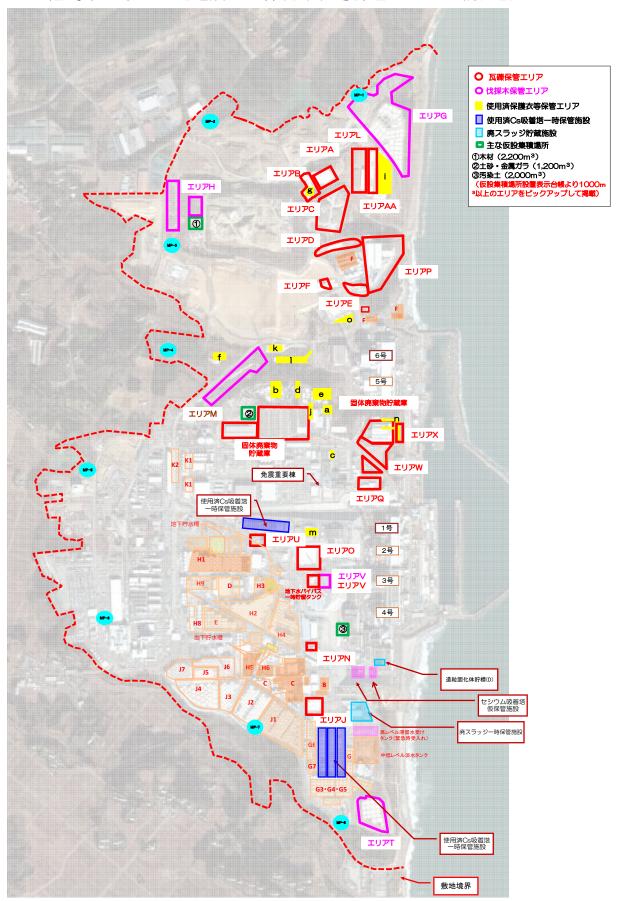
### 30mSv/h以下対象エリアの保管量<sup>※7</sup>

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※1、4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≦5	Q	6,100	0	0
≦10	F1	700	600	0
<b>≧</b> 10	E2	1,800	1,200	0
≦30		16,000	16,000	0
<u></u>	計	24,600	17,900	0

#### 2021年3月末瓦礫類想定発生量<sup>3</sup> (m3) 28,500

- %1 端数処理で $100 \mathrm{m}^3$ 未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
- %2 100 $m^3$ 未満を端数処理しており、微増・微減とは50 $m^3$ 未満の増減を示す。
- ※3 瓦礫類の保管量(想定)は、実施計画(2020年7月14日認可)の予測値を示す。
- ※4 瓦礫類の保管容量は、運用上の上限を示す。
- ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした(2020年1月6日認可)が、移行期間のため「一」と記載。
- %6 エリアA1及びA2は1 $\sim$ 30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。合計値には、この仮設集積分を含む。
- ※7 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。

# 福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



提供:日本スペースイメージング(株)、(C) Digital Globe